



間伐を待つ杉林



この建物、何に、どう使う

県の外郭団体「ひょうご農林機構」の主要事業である分収造林事業が破産状態と報道されている



ひがしがきのりお 東垣 典雄 議員

### 分収造林事業の今後はどうなる 木材生産への影響を注視します



本町でも分収造林を行っておりその影響を伺う。  
①分収造林の経過と現状  
②森林施策への影響は

#### 町長

①分収造林事業は森林所有者と機構が締結した分収契約に基づいて機構が造林・保育を

実施主伐して収益が出れば利益を分配するものです。  
事業開始から約60年の歴史があります。  
町の森林面積の約1割3043haが分収造林です。分収造林事業において多額の債務があるとの記事に戸惑う部分もありますが県及び「ひょう

ご農林機構」から特段の説明はありません。  
②町内森林資源の保全、活用について「香美町循環する百年の森づくりビジョン」を策定して取り組んでいます。  
町の木材生産への影響は現時点では不明ですが状況を注視しながらビジョンの達成に向けて各種施策を展開します。



みつがおさむ 見塚 修 議員

### 廃校施設の活用をどうする!! 広く要望、意見を伺い議論します



少子化に伴い、全国的に学校の統廃合が行われ、廃校施設(土地・建物)の利活用が問題化されている。  
本町では既に香住第二中学校が廃校となり、3月末には奥佐津小学校と

①現在までの取り組み  
②今度の取り組み計画  
町長 ①令和3年5月に香住第二中学校校舎等利活用検討委員会を立ち上げ、今まで11回の会議

で検討しましたが、具体的結論に至っていません。  
②引き続き廃校となる学校の利活用について、議論することとしています。  
学校再編検討委員会で各校区の要望や意見を伺っていますが、今後も広く一般や国の廃校バンクへの登録、民間事業者とのマッチング等を図っていくこととしていきます。